

小曾木地区防災訓練

1. 日時 9月2日(日) 午前8時45分～11時45分
2. 会場 第七小学校、第六中学校および小曾木市民センター
3. 訓練概要
 - (1) 発災の想定
9月3日(月) 午前8時40分、立川断層帯を震源とする地震が発生。青梅市においても震度6弱を観測。小曾木地区においても災害が発生している状況。
 - (2) 避難訓練の概要
避難者が学校に避難して受け入れるまで。
 - (3) 避難後の説明「生命を守るための避難」
～震災時と風水害時の小曾木地区の避難の本来の姿～
 - ・防災士より説明
 - ・各丁目ごとに確認、討議

当日配布資料

- ・このプリントを全員配布 (A3両面印刷、2つ折り)
※後日、小曾木地区全戸配布
- ・ハンドブックのハザードマップコピーを全員配布
- ・「青梅市民防災ハンドブック」2015年保存版を50部程度準備し、各自治会へ3部程度ずつ配布。

事前準備として自治会役員・消防団へ以下の持参物連絡を入れる

- ・ご自宅にある方は、「青梅市民防災ハンドブック」2015年保存版
- ・筆記用具、老眼鏡など

このプリントは、後日、小曾木地区全戸配布します。自治会に未加入の世帯の方にも災害時に命を守るため、ぜひ、ポストに入れてください。

小曾木地区での災害発生時の避難の流れ《生命を守るための避難》

	地震【震度5弱以上】	洪水・土砂崩れ・浸水
事前確認	<p>①自宅の耐震強度確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和56年以前に建築された自宅は耐震診断で確認 <p>②自宅内の安全ゾーン※1 確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い机の下、倒れる物が無い、玄関など 	<p>大雨や土砂災害警戒情報発令時に避難が必要か確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒区域・特別警戒区域※6かどうかの確認 ・浸水予想区域※7かどうかの確認 <p>⇒どちらかに該当する方は避難が必要</p>
事前情報	<p>緊急地震速報が鳴ったら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全ゾーン※1へ移動する(強い机の下、倒れる物が無い、玄関など) 	<p>①土砂災害警戒情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害発生危険度がかなり高まったときに出る情報。自主避難を要検討 <p>②避難準備・高齢者等避難開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等は避難する <p>⇒小曾木地区はここまで自主避難！</p> <p>③避難勧告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当区域は一刻も早く全員避難する <p>④避難指示(緊急)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未避難者はただちに避難する ・外出が危険な場合は自宅内安全確保※8
災害発生	<p>①まず、身の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全ゾーンで身を守る(強い机の下、倒れる物が無い、玄関など) ・昭和56年以前に建築された自宅の1階に居る場合は落ち着いて屋外へ <p>②屋外へ避難、状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火を消す、電気ブレーカーを切る 	<p>①早い時期の避難が最も大切</p> <p>(避難経路が浸水する前に)</p> <p>ア. 土砂災害警戒区域外、浸水区域外の安全な場所へ早期に避難する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区域外の親戚、友人宅などを避難先※9として決めておく <p>イ. 未決定なら風水害時避難場所※10へ</p> <p>ウ. 特別警戒区域外の近隣宅等への避難</p> <p>②外出が危険で避難が困難なとき</p> <p>エ. 自宅内安全確保※8</p>
ご近助※2	<p>①隣近所で声を掛け合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否確認、初期消火、救出救護の実施 ・隣組状況把握後に一時集合場所へ連絡 <p>②一時集合場所※3に集まる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否確認、初期消火、救出救護の実施 ・状況を把握し、震災時避難場所へ連絡 <p>③帰宅または震災時避難場所※4へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害が無く安全であれば帰宅 	<p>①避難時は隣近所で声を掛け合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難時は必ず複数のお宅へ報告(伝えられた方も避難を考え始めます) <p>②避難行動要支援者へ声を掛ける</p>
避難後	<p>帰宅または避難所※5へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害が無く安全であれば帰宅 ・自宅生活不能などの場合は避難所へ 	<p>自宅が被災または危険で他の避難する場所が未決定なら避難所※5へ</p>

用語解説 と あなたの指定場所

※1 安全ゾーン：転倒落下物の少ない閉じ込められない場所。

※1：説明後に各自2箇所記入

※2 ご近助：地域防災の基本は「自助」「共助」。その中間で顔の見える近くの人と助け合うのが「近助」。

※3 一時集合場所：公園など地域で決めた場所。「近助」「共助」の力の結集場所。

※3：説明後に自治会ごとに決定

※4 震災時避難場所：火災等の危険から身を守る場所。青梅市が指定。

※4：いずれかに○を記入 富岡3丁目運動広場 小曾木2丁目運動広場
小曾木市民センター 第七小学校 第六中学校 黒沢中央運動広場

※5 避難所：避難生活する場所。。震災時、風水害時とも共通。

※5：いずれかに○を記入

第七小学校 第六中学校

※6 土砂災害警戒区域・特別警戒区域：大雨が降ったり、土砂災害警戒情報が発表された場合に避難が必要な区域。【ハトブックP.24,25】

※7 浸水予想区域：平成12年の東海豪雨（総雨量589mm、時間最大雨量114mm）並みの豪雨の場合の浸水予想区域。【ハトブックP.24,25】

※8 自宅内安全確保：逃げ遅れた場合や自宅外への避難ができない方が生命を守るために取る自宅内での安全確保。2階や山側と反対の部屋への避難。

※9 区域外の親戚、友人宅などの避難先

※9：説明後に各自1箇所記入

※10 風水害時避難場所：第六中学校、第七小学校、小曾木市民センター

※9：説明後に各自1箇所記入

第六中学校 第七小学校 小曾木市民センター または_____自治会館

- 小曾木地区の過去の水害発生事例から、水害発生時には、
 - ・小曾木街道の①小曾木郵便局周辺、②寒念橋からの天寧寺通り、③富岡市営住宅周辺、④笹荷田峠が通行不能になることが予測されます。
- 浸水予想区域図から、学校や市民センター周辺は浸水が予想されます。

参考資料

平成 30 年 7 月西日本豪雨での倉敷市真備町の浸水と国や倉敷市の対応

- 7月5日 14:00 気象庁が「西日本と東日本で記録的大雨のおそれ」と発表
23:00 市が災害対策本部を設置
- 7月6日 11:30 市が市内全域の山沿いに「避難準備・高齢者等避難開始」を発令
「避難所」を開設
19:30 市が市内全域の山沿いに「避難勧告」
21:50 小田川の氾濫警戒情報
22:00 真備町全域に「避難勧告」
22:20 小田川に氾濫危険情報
22:40 市に大雨特別警報
23:45 小田川南側の間部長に「避難指示（緊急）」
- 7月7日 00:30 小田川に氾濫発生情報
01:30 小田川北側の真備町に「避難指示（緊急）」
01:34 国交省が真備町の高馬川で堤防の決壊を把握
06:52 国交省が小田川で堤防の決壊確認
12:30 小田川で2ヶ所目の決壊確認

災害時に備えては、ご近所での支え合い、災害時に安全な場所や地域外に避難先を決めておくことが命を守る^{かなめ}要です。ご高齢の方なども自治会へ加入する、加入できるよう考え、災害に強い街づくり・絆づくりを進めましょう。